

# Book Review



## かとうひさこの パーフェクトスケーリング テクニック

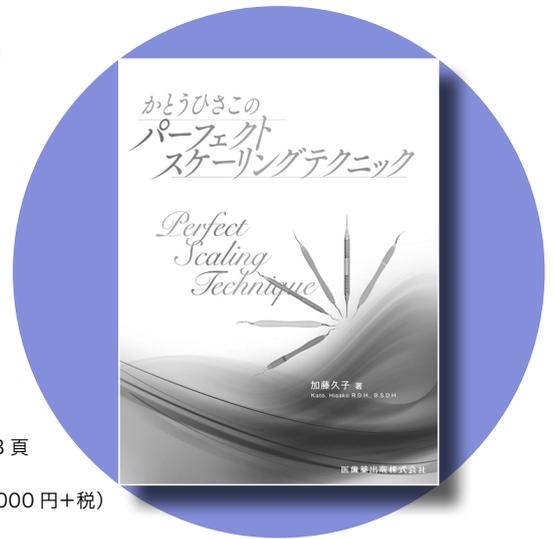
加藤久子 著



Reviewer

山崎長郎 Masao Yamazaki  
(東京都・原宿デンタルオフィス)

A4 判変, 148 頁  
オールカラー  
定価 (本体 5,000 円+税)  
医歯薬出版刊



歯科治療のなかで一番難しい治療は何かというと、歯石をきちっと除去することかもしれない。それほど円筒形の歯根を、カーブしたインストルメントで操作することは困難で、かなり熟練した技術が必要となるからである。

本書、『かとうひさこのパーフェクトスケーリングテクニック』は過去にないほど、微に入り細に渡り、まさに詳細に機械・器具の使用法および操作性を網羅している。また、それに伴う各ステップの一つひとつのテクニックを余すことなく説明している。

本書の目次は以下のとおりである

1. 歯根を把握する
2. 感染予防
3. ポジション
4. プロービング
5. エキスプローリング
6. 器具の把持と固定法

7. シックルスケーラー
8. キュレットスケーラー
9. スケーリングテクニック実践
10. 超音波スケーラー
11. エアスケーラー
12. シャープニング

コンテンツは前半が解剖学から歯根形態を把握し、重要な感染予防について述べている。次に無理なく効率的に長時間働くためのポジションに移り、プロービング、エキスプローリングの重要性を述べている。6章からは実際の器具の把持と固定法、シックルスケーラー、キュレットスケーラーのストロークおよび器具の説明、9章は各部位の固定法と操作方法およびその注意点を、本当にこれでもかと細かく丁寧に説明している。10章、11章は超音波スケーラーとエアスケーラーのおのおのの特徴と使用時の注意点を述べ

ている。最後にシャープニングのすべてを見事に順序立てて説明している。

このように完全なまでのステップバイステップをわかりやすく丁寧に各章ごと、余すことなく解説している。いずれにしても、これだけ詳細にスケーリングテクニックをまとめ上げた本はかつてないし、また、これからも出版されないであろう。

今後歯科衛生士の役割はますます重要となり、歯科医院の中心と成りうるであろう。それは歯科医療の進歩に伴い、実際の治療よりメンテナンスの占める割合が大きくなったことによる。そんなタイミングでこの技術書が上梓されたことは、的を射ていると思う。

読み方は自由であるが、ハイジニストのバイブルとなりうる一冊である。心から敬意を表したい。